

MMT-A

消耗品・別売品のお買い求めについて

キャップユニット・パッキンは消耗品です。
1年を目安にご確認ください。
汚れが目立ってきたり、ゆるくなってきたら、以下のいずれかでお買い求めの上、交換してください。

- お買い上げの販売店
- タイガーお客様ご相談窓口(下記「連絡先」参照)
- 消耗品・別売品のご購入専用ホームページ(下記「連絡先」参照)

品名
キャップユニット*1*2
くちパッキン
ふたパッキン

*1 くちパッキン・ふたパッキンつきです。
*2 製品の色柄により異なります。

仕様

実容量	0.54L
保冷効力(6時間)	8度以下
外形寸法*1	幅6.9×奥行7.7×高さ22.7cm
質量*1	0.24kg

*1 おおよその数値です。
※保冷効力とは、室温20度±2度において製品に冷水をせん下端まで満たし、縦置きにした状態で水温が4度±1度のときから6時間放置した場合におけるその水の温度です。
※実容量とは、製品付属のせんをしたときに、実際に入る容量です。「安全上のご注意」に記載している「少なめ容量」ではありません。

連絡先 **タイガー魔法瓶株式会社** 本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-011101

市内通話料金でOK

市内通話料金でご利用いただけます。

※携帯電話・PHSとIP電話等(ナビダイヤルを
利用できない電話)の方はこちらへ

TEL (06) 6906-2121

●受付時間 AM9:00~PM5:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除きます。)

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

ホームページアドレス <http://www.tiger.jp/>

消耗品・別売品のご購入ホームページ <http://www.tiger.jp/shop.html>

お問い合わせについて

品質管理には細心の注意をはらっておりますが、万一製品が不具合なときは、P.8をご覧ください。それでも不具合のある場合は、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口へ次のことをお知らせの上、ご相談ください。

- ①製品名
- ②品番
- ③製品の状況(できるだけ詳しく)
- ④購入日

また、製品に関するご質問などもお気軽にお問い合わせください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために一部予告なく変更することがあります。



タイガー魔法瓶

品番

MMT-A型

ステンレスボトル サハラクール

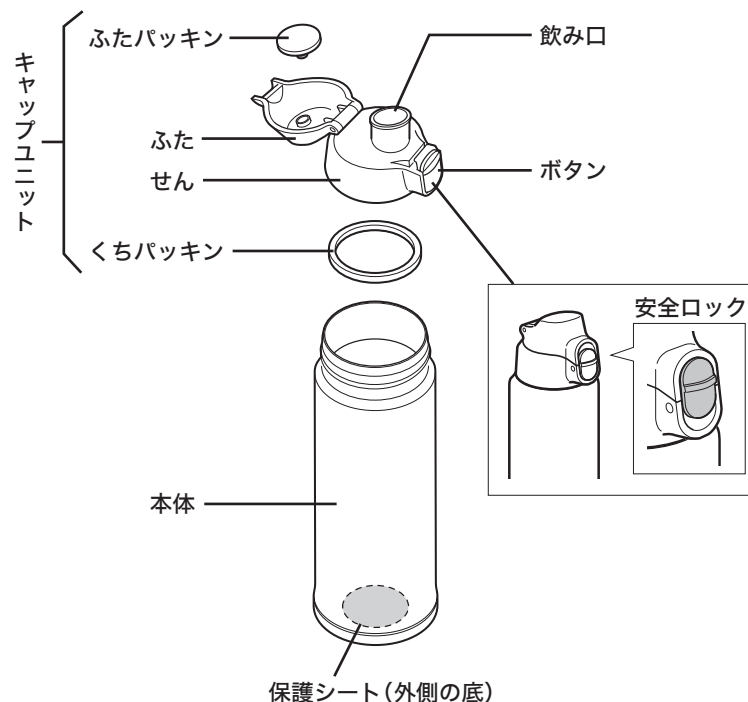
取扱説明書

保冷専用

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

各部のなまえ

※ご使用前に各部品がそろっていることを確認してください。



安全上のご注意

本体に貼ってあるご注意に関するシールと底のシールは、はがさないでください。

熱いものを入れない。

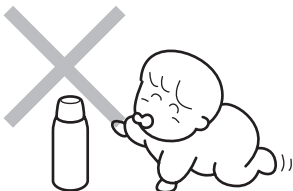
やけどなどのおそれ。



乳幼児の手の届くところには置かない。

また、いたずらに注意する。

けがなどのおそれ。



キャップユニットは確実にしめ、ロックされていることを確認する。

内容物がもれて、ものを汚す原因。

ドライアイス・炭酸飲料などは入れない。

内圧が上がり、ふたがあかなかつたり、内容物が吹き出たり、部品が破損して、けがなどのおそれ。

牛乳・乳飲料・果汁などは入れない。

腐敗・変質の原因。また、そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して本体の内圧が上がり、内容物が吹き出たり、部品が破損して、けがなどのおそれ。

みそ汁、スープなど塩分を含んだものは入れない。

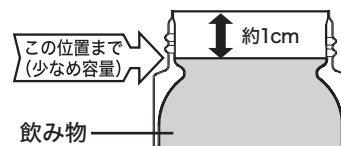
腐敗・変質・サビのおそれ。

お茶の葉・果肉などは入れない。

目づまりし、もれるおそれ。

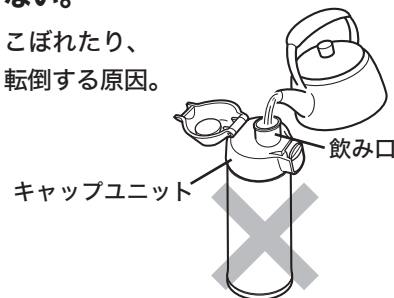
飲み物の量は、図の位置までにする。

入れすぎると、もれたり、あふれたりするおそれ。



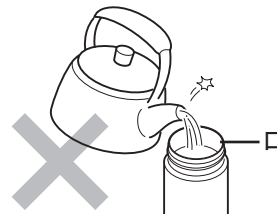
キャップユニットをセットした状態で飲み口から飲み物を入れない。

こぼれたり、転倒する原因。



口部分に、ヤカンなどの注ぐ容器をあてない。

転倒して、けが・傷や変形のおそれ。



スポーツ飲料を入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。

外出時など充分なお手入れができないうちでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。カビの発生やサビや穴があくなど故障の原因。

倒したり、落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えない。

破損・保冷効果の低下・サビ・塗装はがれ・内容物がもれるおそれ。

飲み物の保冷以外に使わない。

冷凍庫に入れない。

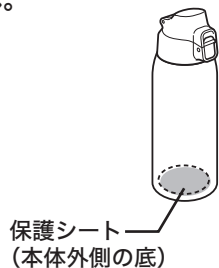
内容物がもれたり、破損のおそれ。

コンロやストーブなど、火気のそばに近づけない。

やけど・変形・変色の原因。

本体外側の底に貼ってある保護シートは、絶対にはがさない。

はがすと、保冷効果が低下するおそれ。



分解・修理はしない。

故障や事故の原因。

塩素系漂白剤は使わない。

サビたり、穴があく原因。

氷を入れると本体の内圧が下がり、ふたをあけたときにふたパッキンはずれることがあるので、その場合はもとの位置につけなおす。→P.7

飲み物は、できるだけ早く飲みきる。

長時間放置した場合は、腐敗によりガスが発生して本体の内圧が上がり、内容物が吹き出たり、キャップユニットが破損して飛び散り、けがなどのおそれ。

本体の柄やシールを、つめやかたいもので引っかいたり、こすったりしない。

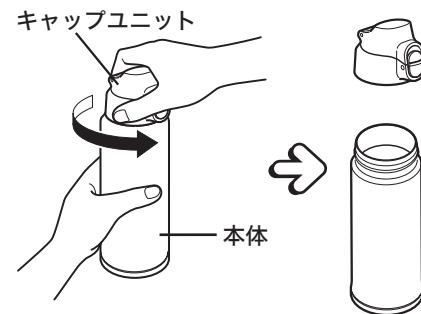
はがれる原因。

使いかた

1 キャップユニットをはずす。

はじめて使うとき

- 本体内側・キャップユニットをお手入れする。→P.6
- ふたパッキン、くちパッキンがついていることを確認する。→P.7

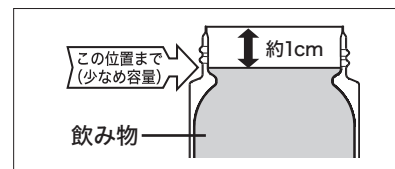


2 保冷効果を高めたいときは、少量の冷水を入れ、1～2分予冷する。

予冷後は、水をすてる。

3 冷たい飲み物を入れる。

- 飲み物は、入れすぎないように図の位置までにする。
- 大きな氷を入れるときは、押し込まず、小さくしてから入れる。

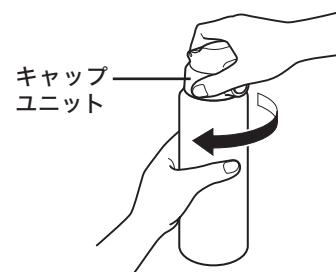


ご注意

本体外側にこぼれた飲み物は、必ずふき取る。

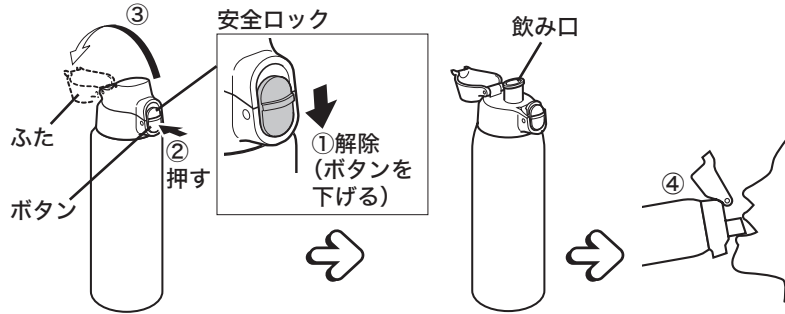
4 本体を立てた状態にしてキャップユニットをしめる。

キャップユニットがまわらなくなる位置まで、確実にしめる。

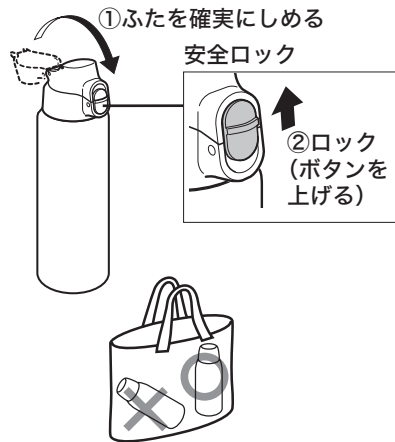


お手入れのしかた

5 安全ロックを「解除」にして ボタンを押し、ふたをあけて飲む。



6 飲み終わったら、 本体を立てた状態にして ふたをしめ、安全ロックを 「ロック」にする。



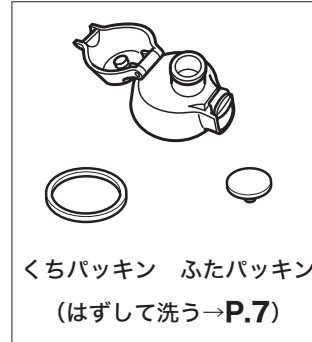
ご注意

- 持ち運ぶときは強い衝撃を与えない。
安全ロックを「ロック」にしても強い衝撃でふたがあくおそれ。
- かばんなどに入れるときは、本体を立てて入れる。
横にすると、もれるおそれ。

- ◆使用後は、必ずその日のうちにお手入れして、十分に乾燥させる。
- ◆洗剤は、台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)を使う。
- ◆スポンジ・布はやわらかいものを使う。
- ◆においを防ぐために、キャップユニットをこまめにお手入れする。



キャップユニット



- ①洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジを使って洗い、水で十分にすすぐ。
- ②本体外側は、すぐに乾いた布で水分をふき取る。(ふき取らないと「水滴」の跡が残ったり、サビ・他のものを汚す原因。)
- ③水分を十分に振り切り、乾燥させる。

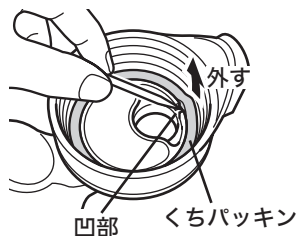
ご注意

- 本体のつけおき洗いはしない。キャップユニットを本体につけたまま、本体を洗わない。
- シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
- 食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸しない。
- くちパッキン・ふたパッキンは必ず取りつける。→P.7
- 長期間使わないときは、十分に汚れを落とし、乾燥させる。

くちパッキンのはずしかた・つけかた

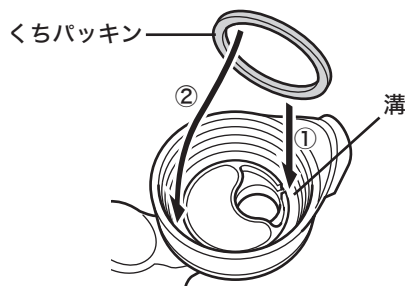
はずしかた

先が細くやわらかい棒（つまようじなど）を凹部に差し込みはずす。
（金串などは使わない。）



つけかた

溝に確実にはめ込む。



ふたパッキンのはずしかた・つけかた

つけるときは、つける場所と取付方向を間違えないように、奥まできっちりはめ込む。



「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」が本体内側に付着したときは・・・

「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」は、水の中に含まれているミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）です。
汚れが目立ってきたら、以下の手順でお手入れしてください。

- ①クエン酸（約10g）をぬるま湯でうすめて本体に入れる。
- ②2～3時間後にやわらかいブラシできれいに洗い、水で十分にすすぐ。
- ③十分に乾燥させる。

※クエン酸は、お近くのスーパーや薬局でお買い求めください。

不具合が生じたときは

こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた
飲み物ももれる。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 各パッキンが確実にセットされていますか。 ▶ キャップユニットが確実にセットされていますか。 ▶ キャップユニットが破損していませんか。 ▶ 飲み物を入れすぎていませんか。 ▶ ふたが確実にしまっていますか。 ▶ 食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸していませんか。→P.6 ▶ 落としたり、強い衝撃を与えていませんか。→P.2 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 確実にセットする。→P.7 ▶ 確実にセットする。→P.4 ▶ 破損しているときは、お買い求めの上、交換してください。→裏表紙 ▶ 入れすぎないようにする。→P.2・4 ▶ 確実にしめる。→P.5
保冷が効いていない。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 落としたり、強い衝撃を与えていませんか。→P.2 ▶ 冷たい飲み物を入れていませんか。 ▶ 飲み物の量が少なくありませんか。少ないと、十分な保冷効果が得られない場合があります。 ▶ 周囲の温度が高い場合など、使用環境の厳しい状況では、十分な保冷効果が得られない場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 冷たい飲み物を入れる。→P.4
ふたがあかない。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 安全ロックを「ロック」にしているませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 安全ロックを「解除」にする。→P.5
本体内側やキャップユニットから異臭がする。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 汚れが付着していたり、飲み物を長時間入れたままにしているませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ お手入れをして、十分に乾燥させる。→P.6・7
キャップユニットに水滴がつく。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 製品の構造上、湿度が高いときに水滴がつく場合があります。 	
本体を振ると「カシャカシャ」と音がする。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 保冷効力を高めるために、本体内部に入れている金属箔の一部がこすれて出る音で性能に影響はなく、異常ではありません。 	